立花生徒会新聞 signal通信 平成28年３月10日（木）尼崎市立立花中学校生徒会執行部発行 第３号 通刊６１号

立花生徒会新聞 signal通信

signalの意味
「信号」
思いやりの
ある学校へ

第3号 平成28年
3月10日 木曜日
尼崎市立立花中学校
生徒会新聞

卒業おめでとうございます

明日十一日（金）、第六十八回卒業証書授与式が行われます。この立花中学校で過ごした三年間は短かったですか？長かったですか？私たち在校生には、とても短く感じられました。気が付けばもう、初めて先輩方にお会いした日から二年の月日がながれています。二年前、不安な気持ちでこの立花中学校にきた私たちを、先輩方は温かく迎えて下さいました。そこで見た先輩方の姿は、今でも私たちのよき手本です。

特に印象深く思い出されるのは、体育大会です。男子の組み体操では、空へそびえたつピラミッドに、大きく心を動かされました。女子の立中ソーランでは、私たちと同じく初めての経験だったにも関わらず、一生懸命努力する先輩方についていこうと、私たち二年生も必死になりました。また、文化発表会では、合唱コンクールに懸ける先輩方の熱い思いが伝わってきました。美しいハーモニーを奏でられた先輩方の歌声は、立花中学校を引き継ぐという、強い意志を感じさせてくださいました。

そして、先輩方に一番お世話になったといえば、クラブ活動です。先輩方に早く追いつかなければと焦ってしまい、逆に足を引っ張ってしまうことも多くありました。ですが、そんなときでも先輩方は、優しく丁寧に教えて下さいました。そんな先輩方の姿から、私たちはこんな先輩になりたいと思うことができ、その思いが今日まで私たちがクラブ活動を続けてこられた理由だと思います。

先輩方はこれから、それぞれの道を歩んでいかれます。そんな先輩方の背中は今、新しい世界へ飛び立とうとする決意と希望に満ちていることでしょう。ですが、しその道は決して楽なものではないと思います。そんなときは、この立花中学校で過ごした三年間を思い出してください。仲間とともに流した汗、笑いあった日々。それは、これから先輩方の未来を明るく導いてくれることと思います。最後になりますが、卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

伝統を引き継ぐ

今日で卒業式の前日です。今、一・二年生のみなさんはどのような気持ちで過ごしていますか。寂しい、悲しいなどそれぞれでしょう。しかし、嬉しいと思う人はいないと思います。それは今まで三年生の背中を見ていろんなことを学んできたからです。三年生が卒業してしまうと寂しくなりますが、そんなことは言っていられません。なぜなら、今まで先輩方が引き継いできた立花中学校の伝統を在校生の私たちが引き継いでいく番になったのです。では具体的に、伝統を引き継ぐとは、どのようなことなのでしょう。

私が思う引き継いでいくべき伝統。それは、先輩方の姿そのものではないかと思います。というのも、今までずっと先輩方に憧れを持っていたからです。なぜなら、どんなときにも自分たちを支えてくださったからです。私たちがまだ入学して間もないころのことです。部活動は体験したことがないものばかりで、分からないことが多くありました。そのおかげで今の自分たちがあるのだと思います。また、委員会活動では何も分からない私たちに分かりやすく教えてくださいました。そんな姿を見て自分もこんな先輩になりたいな。」と思いました。こう思うことが伝統を引き継ぐことに繋がるのではないでしょうか。自分たちが先輩方にしてもらったこと、それを後輩達にも同じようにしてあげること。これが私の考える「先輩方の姿」を引き継いでいくということです。ですから、みなさんはこの伝統を引き継ぎ、これからも頑張りましょう。

三年のみなさんは四月に二年生に進級し、先輩となります。「先輩として何が出来るのだろう。」と思うこともあるでしょう。そんな時には、今まで自分が先輩にしてもらったことを思い出してみてください。そうすれば、必ず答えが出てくると思います。二年生のみなさんは立花中学校の最高学年、つまり立花中学校の顔となります。気を引き締めていきましょう。そして、なにより後輩達から誇られる先輩へとなれるよう頑張りましょう。

一年間を振り返って

今月二十五日（金）に修了式が行われ、今年度が終わります。学年末というのは、良い機会です。みなさん、この一年間を振り返ってみましょう。楽しかった思い出や悔しかった思い出など、全校生徒それぞれがさまざまなことを感じたと思います。ですから、今一度、自分の行動や生活態度を見直してみてはどうでしょうか？

四月は、皆さんの心にたくさんの希望が詰まっていたと思います。新一年生が入学、私達在校生は先輩としての自覚を持ちました。五月は、一年生が一泊二日の宿泊学習に行きました。その中では、集団行動を学び、クラスや学年の絆を深めることができたと思います。二年生は二泊三日で長崎へ修学旅行に行きました。二年生にとっては、仲間と思い出を作る泊行事では最後の行事でした。六月の体育大会では、クラスの団結力が身に付いたと思います。十月は文化発表会があり、日頃の研鑽した合唱コンクールもありました。一人一人が楽しみ、努力の成果を充分に発揮できたと思います。十一月にはトライやるウィークがあり、二年生は、選択職場体験をしました。将来にも関係してくる仕事もあり、全員が責任を持って行動できました。一月は阪神淡路大震災が起きた一月十七日に防災訓練を行いました。実際に災害が起きたと想定して、命を守る事の重要性に全員が真剣に取り組めていたと思います。いつ、どこで、災害が起きるか分かりません。これからも、それらの事を考えて行動していきましょう。明日十一日（金）には第六十八回卒業証書授与式が行われます。

この一年間、みなさんは充実した日々を過ごすことができましたか？二年生は中学校を卒業し、新たな世界へ足を踏み出します。二年生は進級し、また新たな一年間を過ごしていくことになります。ですから、全校生徒一人ひとりが自分自身を振り返り、来年度はさらに充実した一年間を過ごせるよう努力していきましょう。そして、今年よりも一回り成長した自分を目指し、悔いのない一年を過ごせるようにしていきましょう。

春休みについて

三月二十五日に修了式があり、春休みが始まります。春休みは、次の学年にあがる準備をする期間です。三月十一日には卒業式があり、三年生のみなさんは立花中学校での三年間を終え、それぞれの夢へ向かって歩んでいかれます。二年生のみなさんは最高学年となり、立花中学校の顔として一・二年生を引っ張っていかなければなりません。一年生のみなさんは先輩となり、これからは、後輩として先輩に引っ張ってもらうだけではなく、自分たちが先輩として新しい一年生を引っ張っていく立場となります。そして、在校生のみなさんは後輩の見本となるような行動をとらなければなりません。しかし、春休みということもあり、気が緩みがちになります。なのでこれから、新学期に向けてしっかりと気を引き締めていきましょう。

学年が上がっても、ルールは特に変わりません。不必要なものを持ってこない、ものの貸し借りをしない、授業を真剣に受けるなどのルールを守れています か。また、風紀面ですが、風紀チェックの時だけ守っている人はいませんか。風紀面は立花中学校の印象に繋がります。なので、風紀チェックの時や、行事の時だけ守るのではなく、普段から気をつけておくようにしましょう。そして最後に時間です。休み時間は次の授業の準備をしてから休憩するようにしていますか。勉強をする時は勉強をする、遊ぶときは遊ぶなどのけじめをつけることが出来ていますか。学年が上がると勉強はより難しくなることでしょう。そうなると、今の勉強量では足りなくなり、勉強時間を増やさなければならなくなるかもしれません。そんなときに、時間が足りないというような事にならないためにも、時間配分をしっかりとして時間を有効に使いましょう。春休みも同じように、けじめをつけ、時間配分をしっかりとし、勉強に遊びと、有意義な春休みを過ごしましょう。そして、ルールが守れていない自覚があるひとは、もう一度ルールをしっかりと見直し、新学期から改めていきましょう。

編集後記

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。卒業しても立花中学校のことを忘れずに、頑張ってください。三年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。（大木・夕部・渡邊・野村・南瀬）